

# 一橋大学男女共同参画ポリシー

1999年に施行された男女共同参画社会基本法は、性別に関わりなくすべての人々がその能力と個性を発揮することができる社会の実現を、21世紀における我が国の最重要課題として位置づけています。

一橋大学研究教育憲章が掲げるように、一橋大学は、日本及び世界の自由で平和な政治経済社会の構築に広く貢献するリーダーの育成をミッションとしてきました。グローバル化が進む現代社会におけるリーダーにとって、人々の個性、多様性の尊重はとりわけ重要であり、一橋大学はこうした観点に立って、大学における男女共同参画を推進します。

1. 男女共同参画社会への意識を醸成するため、様々な機会を通じて学内における啓発活動を推進します。
2. 教職員・学生等が性別に関わりなく対等の人格として尊重される環境を享受できるよう、ハラスメントの防止と排除に努めます。
3. 教職員・学生等のワーク・ライフ・バランス向上のため、学修・教育研究・就業とライフイベントの両立に向けて、学内体制を整備し、育児・介護支援などを推進します。
4. 多様な人材の確保による教育研究活動の活発化のために、教職員の採用・昇進等において男女の均等な機会を確保します。

一橋大学長  
男女共同参画推進本部長  
蓼沼 宏一

## 一橋大学 男女共同参画推進室



国立西キャンパス第2研究館7階710号室

<CONTACT> 〒186-8601 東京都国立市中2-1  
TEL&FAX:042-580-8730(内線8726)  
Email:gen-fr.g@dm.hit-u.ac.jp  
開室時間:9:00-16:30  
\* 土日祝・学長指定休み除く\*

<HOME PAGE> <http://www.sankaku.ad.hit-u.ac.jp>



# 一橋大学

## 男女共同参画推進室

### ご案内

～ 教職員の皆様へ～



一橋大学 男女共同参画推進室は  
あなたの学修・教育研究・就業とライフイベント  
の両立を応援しています

#### ◆男女共同参画推進室支援事業のご紹介

- I. 育児支援事業
- II. 研究支援員制度
- III. イベント
- IV. 男女共同参画推進室のご利用について



一橋大学男女共同参画推進室は、学修・教育研究・就業とライフイベントの両立している皆様を応援するため、以下の取組みを実施しております。お気軽にご利用ください。

## I. 育児支援事業

### 1. ベビーシッター利用支援事業

本学は、株式会社マザーネットと(株)小学館集英社プロダクションと法人契約を締結しており、小学校6年生までのお子さまを養育する本学教職員・学生の方がベビーシッター利用料金の割引を受けることができます。概要は、以下の通りです。

	マザーネット	小学館集英社プロダクション(HAS)
サービス概要	自宅での子どもの保育・送迎サービス等 病児保育あり(発熱・感染症等も対応可)	自宅での子どもの保育・送迎サービス等 病後児保育あり(病児対応不可)
料金	1時間につき 2678円～(年会費不要) ※教員等が、通常保育を利用できない場合(病気・出張・休日勤務等)における基本利用料金は、1時間につき1,000円～(年間利用時間の上限有)となります。	1時間につき 1944円～(年会費1万円) または1時間につき 2257円～(年会費不要)

### 2. ベビーシッター派遣事業(公的支援)

就労のためのベビーシッターを利用する場合に、その一部が助成される制度です。(配偶者就労等の条件もあります)

#### ●対象となる子ども

乳幼児及び小学3年生までの児童等

#### ●利用できるベビーシッター

公益社団法人 全国保育サービス協会が指定するベビーシッター業者

#### ●割引額と利用限度

- ・割引券1枚あたり、2,200円。
- ・1家庭につき、1日1枚、1か月24枚、1年間280枚まで(※「1.ベビーシッター利用支援事業」との併用が可能です。)



上記 I. 育児支援事業「1.ベビーシッター利用支援事業」、「ベビーシッター派遣事業(公的支援)」の詳細ご案内は、当室ウェブサイトをご覧ください。

なお利用には、事前登録・申し込みが必要です。登録申込書は男女共同参画推進室ウェブサイトに掲載しておりますので、利用希望者は、申込書をダウンロードし、必要事項を記載の上、男女共同参画推進室にご提出ください。(郵送可)

### 3. ねぎし保育園の教職員枠利用

本学と協定を締結している根岸病院事業所内保育所「ねぎし保育園」の教職員枠を利用できる制度です。定員を超えた場合は選考により利用者の決定を行います。

#### ●利用対象者

本学に在籍する教職員(常勤)であって、かつ、配偶者が就労・就学中である等市区町村に「保育の必要性」が認定される見込みの者

#### ●対象となる子ども

0歳から2歳までの子(入所年の4月1日現在)

#### ●利用料

府中市の保育所等の利用者負担額による。

※ 募集要項はHWP上の、「文書管理>10教職員共通>10申請書・様式>220人事課>ねぎし保育園利用関係」に掲載しています。

## II. 研究支援員制度(教員対象)

本学では研究者に対する両立支援策のひとつとして、主に出産・育児・介護等ライフイベントにより十分な研究時間が確保できない研究者の方を対象に、研究支援員を配置する制度(以下、研究支援員制度)を実施しています。

#### ●支援対象者(応募資格)

配偶者が就労・就学中、またはひとり親世帯であり、本学において雇用されている研究者(国家公務員共済組合員、または厚生年金保険被保険者)・本学受入れの日本学術振興会特別研究員(SPD,PD,RPDに限る)のうち、

- ①本人又は配偶者が妊娠中である
  - ②要支援又は要介護の認定を受けている家族の介護をしている
  - ③小学校6年生までの子を養育している
  - ④病気(難病、重病、障害等)の家族の介護をしている
- という理由により、十分な研究時間が確保できない方

#### ●支援概要

各研究者等1名につき、研究支援員1名を配置し、研究者等の研究活動に必要な補助業務(研究調査の補助、データ入力や整理、資料作成など)を行う。

- ①配置期間：前期(4月～9月)、または、後期(10月～3月)
  - ②利用の上限：2月を超えるものとし、時間は週19時間、期間内120時間(原則)を限度とする。
- 応募方法等の詳細については、男女共同参画推進室までお気軽にお問い合わせください。

## III. イベント

### 1. グループ・メンタリング(研究者ランチ会)

月に1回、ランチタイム(12:00～14:00、途中入退出可)に、本学教員や学生の研究活動や両立に関する経験を共有するグループ・メンタリングを開催しています。メンターの先生を囲んで、研究科や専門分野を超えた研究者のネットワークが築けると好評です。



### 2. アカデミックキャリア講習会

研究者をめざす大学院生等を支援するため、学内外から講師を招聘し、テーマに沿ってキャリア構築や両立に関わる経験談を交えた、セミナーを年数回開催しております。



## IV. 男女共同参画推進室のご利用について

### 1. おむつ交換台・冷凍庫のご利用について

男女共同参画推進室では、おむつ交換台と冷凍庫をご用意しております。授乳・搾乳の際など、お子さんと一緒にゆったり過ごすことができるスペースもありますので、お気軽にお越しください。



※イベント開催等の時間帯は利用できない場合もあります。

### 2. 参考図書の貸出し

男女共同参画推進室では、育児や介護、ワークライフバランス、男女共同参画などに関する図書を多数取り揃えております。開室時間内に貸出を行っておりますので、皆様ご利用ください。



※おひとりにつき1回3冊まで。貸出期間は1か月です。

### 男女共同参画推進室 開室時間

平日 9:00～16:30 (土曜日・休日・祭日を除く)

※おむつ交換台は、以下の場所にも設置しています。

- ・国立東キャンパス マーキュリータワー高層棟1階 多目的トイレ内
  - ・国立西キャンパス 保健センター 多目的トイレ内
- 詳細はバリアフリーマップをご参照下さい。



バリアフリーマップ